

## I. 広東省

### 1 肇慶市と香港を結ぶ高速鉄道が来月運行開始

●肇慶市政府の発表によれば、肇慶市と香港を結ぶ高速鉄道が7月10日から運行を開始すると発表した。肇慶東駅発香港西九龍駅着の便は片道2時間、香港西九龍駅発肇慶東駅着の便は停車駅が少ないため1時間20分前後となる。出身地が肇慶市の香港住民は香港に20万人以上おり、肇慶市の香港系企業は875社、肇慶市を訪れる香港からの旅行者は毎年のべ20万人以上、肇慶市から香港を訪れる旅行者はのべ約23万人。2018年の香港企業による肇慶市への投資は6.73億元で、肇慶市への外資系企業の投資総額の71.3%を占めた（10日「南方日報」7面）。

### 2 李希・広東省党委書記がプラユット・タイ王国首相と会見

●8日～11日、李希・中央政治局委員兼広東省党委書記率いる中国共産党代表団がタイを訪問した。10日、李希書記はプラユット・タイ王国首相と会見した。李希書記は、中国はタイと発展戦略をマッチングさせ、広東・香港・マカオ大湾区と「東部経済回廊」の協力関係を強め、質の高い「一帯一路」を築き、共に経済のグローバル化を推進し、中・タイ関係と中国・アセアン関係の更なる発展を促進させ、広東省はこれらの方面で強みを発揮し、協力関係を深めたいと述べた（12日付「南方日報」1面）。

### 3 李希・広東省党委書記がマハティール・マレーシア首相と会見

●13日、李希・中央政治局委員兼広東省党委書記がマハティール・マレーシア首相とマレーシアのプトラジャヤで会見した。李希書記は、米中貿易摩擦における中国側の立場と決心、自信を紹介し、マレーシアと共に多国間主義を擁護し、開放型のグローバル経済を構築したいと述べた。また、マレーシアの広東・香港マカオ大湾区（以下、大湾区）建設への参加を歓迎し、発展のチャンスを楽しみたいと述べた。マハティール首相は、マレーシアはアメリカの中国企業への不当な圧力に反対し、共同で経済のグローバル化と多国間貿易体制を擁護し、「一帯一路」の枠組み内でのウィンウィン関係を切り開き、積極的に大湾区建設に参加したいと述べた（15日付「南方日報」1面）。

## II. 広州市

### 1 広州市の自動車ナンバープレートの発給を拡大

●このほど、広州市中小型車指標調整管理弁公室は、6月分の自動車ナンバー

プレートの発給件数を発表した。6月に発給する自動車ナンバープレートは17,090件で、そのうち抽選による発給は11,000件（先月比5,000件増）、競売による発給は6,090件（同2,000件増）。これにより、6月分の自動車ナンバープレート取引成約価格の下落が見込まれる（11日付「南方日報」9面）。

## 2 恒大グループが広州市南沙区にNEV工場を建設

●11日、広州市人民政府と恒大グループが戦略提携枠組み協定を締結した。恒大は1,600億元を投資して、広州市南沙区に新エネルギー車（NEV）の工場を建設する。将来的には新エネルギー車の年間の生産能力は100万台を見込んでいる（12日付「広州日報」1面）。

## Ⅲ. 深セン市

### 1 深セン市のシェアリング自転車が増減

●12日に深セン市交通運輸局が発表したレポートによれば、現在深セン市内で稼働しているシェアリング自転車は48万台で、運営会社はわずか2社となった。2017年9月にはシェアリング自転車は90万台近くあり、運営会社も10社近くあった。また、現在の1日当たりの平均利用者数は延べ84.9万人で、2017年9月の延べ517.3万人に比べ大幅に減少した。48万台のシェアリング自転車のうち、実際に利用可能なシェアリング自転車は37万台で、11万台は使用不可能な自転車として放置されている（13日付「深セン特区報」6面）。

## Ⅳ. 福建省

特になし。

## Ⅴ. 広西チワン族自治区

特になし。

## Ⅵ. 海南省

### 1 貧困対策に36億元投資

●このほど、南方電網海南電網公司関係者は、3年間で36億元を投資して電力のネットワークを建設し、海南省の貧困対策に貢献していくと発表した（14日付「海南日報」6面）。

（了）